



ユニオンネット埼玉

ユニオンネット・埼玉行動開始。 労働相談0件だが、前向き姿勢を持続し前進！

旗開きにご参加の皆さん、改めまして新年明けまして、おめでとうございます。今年もよろしくお願いたします。ユニオンネット・埼玉は、昨年9月17日に結成した、まだほやほやの組合です。組合員16名とまだ少ない人数ですが、英知を出し合いながら前に一歩一歩前進しています。

すでに執行委員会も、5回ほど開催し、久喜駅西口駅頭における宣伝行動を2回、労働相談2回実施いたしました。残念ながらまだ相談者は0件という状況です。しかし、まだまだ小さな組織で、配布枚数が少ない状況下では、無理からぬ話です。気長に配布枚数と配布場所の選定をしながら、新社の中間の皆さんのご協力を得ながら、今後も努力して行きたいと思いません。2月までには、ぜひともホームページを立ち上げ宣伝効果を高めるとともに、「ユニオンネット・埼玉」を知っていただき、気軽に相談できる体制を作って行きたいと思っています。ご期待ください！

派遣村は、他人事ではない！

案の定、正社員を含めたリストラが始まった。三洋電機が、国内外の正規・被正規社員1200人を削減すると発表しました。国内で正社員500名ということで、自分は大丈夫だろうと思っていた正社員は大きなショックを受けています。暮れから正月にかけ、日比谷公園に作られた「年越し派遣村」は、雇い止めをされた派遣労働者が住むところもなく、寒空に放りだされたが、こんどは正社員までが、リストラの対象になりました。16日に春闘がスタートしたが、連合と日経連は、賃上げで真っ向から対立したが、雇用では具体策もなく、共同宣言を発表、失業者の安全網と社会基盤整備による雇用の創出など政府に要望すること



が中心であり、経営側は懐を痛めずに済むワークシェアリングの導入を提案する有様で、大手企業の内部留保資金は、世界の競争に打ち勝つためと、もっと怖い株主のために使うために、何が何でもしまいこんで、雇用も、賃金も労働者のため、社会のためという考えは持ち合わせていないようだ。テレビを見ていたら、中小企業の社長が「従業員は内の宝ですから、簡単に辞めてくださいとはいえません。」と。自ら営業に回り、それこそ、従業員の勤務時間・休日を調整しながら難局を乗り切ろうとしている姿が映し出されました。

まだ少し余裕があるからだと思いました。余裕がなければ社員を切らなくてはならないだろうと感じました。一方の派遣労働者は、忙しい時は馬車馬のごとくこき使われ、景気が悪くなれば、真っ先に首を切られる。これは人間としての扱いはありません。物としての一部品と同じ扱いです。

こうしたことを許す訳には行きません。ここまで、派遣労働者が非人間的な扱いを受けているのに、連合幹部の口から製造業への派遣規制強化の実施を求める強い要求は出ていないように思われます。正社員だけの連合では困ると思います。